

# 創薬サポートシステム（iPS細胞自動培養装置）の販売開始

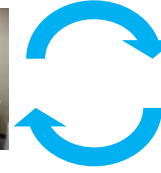
## どんなイノベーションを起こすのか

iPS細胞を用いた創薬研究効率を向上させ、副作用の無い薬物療法で長寿命化に伴う健康に対する不安を解消できる社会を早期に実現する。

## 創薬研究の効率化



細胞供給



・毒性試験  
・スクリーニング



副作用の無い  
医薬品

## 開発の内容

### 商品・サービスの内容

iPS細胞の未分化維持培養の培地交換から継代までの作業を自動化する装置

### ターゲットユーザー

製薬会社や再生医療の研究機関及び、培地や足場などの周辺産業研究機関

### ユーザーベネフィット

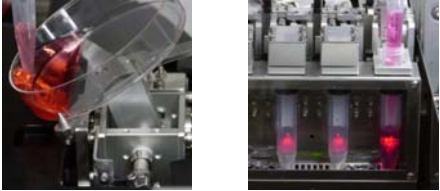
iPS細胞を用いたスクリーニングや毒性試験による創薬研究効率の向上

### 差別化のポイント

ロボット技術を駆使した「付加価値」の創出



【装置外観】

付加価値	差別化技術	保有ロボット技術
無人連続運転 (大型連休対応)	泡防止添加, 液垂れ防止 (コンタミ防止) 	マニピュレーション
	継代タイミング判定, 細胞品質良否判定 	視覚認識 データベース
培地コスト削減	増殖促進	環境計測 マニピュレーション